

北米の社会科教員から生の声を聞く

期 間：	2018年6月25日（月）～7月2日（月）（8日間）	
参 加 者：	マーブ・ソレンセン	アリゾナ州ベンソン市 ベンソン高校
	ザック・ローゲウィッツ	カンザス州トピカ市 ウォッシュバーンルーラル高校
	ジョン・イエーガー	ニューヨーク州ピッツフォード町 ピッツフォード・メンドン高校
	シグリッド・オルセン	オレゴン州セイルム市 スプレイグ高校
	メガン・コール	アラバマ州ホームウッド市 ホームウッド高校
	アリッサ・マクリーン	メイン州オーパーン市 エドワードリトル高校
	アビー・ダプキー	アリゾナ州チャンドラー市 ハミルトン高校
	ジェームス・デュラン	フロリダ州タンパ市 コールマン中学校
	ヴィクトリア・リード	ネブラスカ州オマハ市、オハマセントラル高校
	ギョーム・ラロシュ	カナダ・アルバータ州カルガリー市 ウェスタンカナダ高校
コーディネーター：	有田 拡人	経済広報センター国際広報部主任研究員

経済広報センターでは、1980年から、米国・カナダの中学・高校教員を招聘し、日本の社会や経済について学ぶ機会を提供してきた。これまでに招聘した教員は700名ほどに及び、来日で得た知見や経験を社会科の授業を通じて子どもたちに伝えており、毎年米国で同窓会も開かれている。今年も6月25日から7月2日にかけて、アリゾナ州、カンザス州、ニューヨーク州、オレゴン州、アラバマ州、メイン州、ノースカロライナ州、フロリダ州、ネブラスカ州ならびにカナダ・アルバータ州から10名が来日した。

一行は、藤崎一郎日米協会会長（元駐米大使）をはじめとする講師から日本の実情に関し説明を受けるとともに、三井不動産、第一生命、伊勢半、日産自動車、清水建設の5社を訪問。各社の施設見学に加え、事業活動、社史、企業文化、さらには防災、イノベーションなど、さまざまなテーマについて意見交換を行った。

また、都立小山台高等学校、渋谷教育学園渋谷中学高等学校、日出中学高等学校の3校を訪問。生徒との英語でのディスカッションや北米の地理や歴史などの授業を通じて交流を深めた。

さらに一行は、短期ながらホームステイを経験したのち、最終日に同センター会員を招いたセミナーに出席。フロリダから参加したジェームス・



日本の生徒たちに授業するリード氏

日本の生徒たちに授業するデュラン氏



デュラン氏は、日本の社会が集団の秩序や調和を重んじること、また、学校が生徒の生活指導に積極的に関与していることなどを挙げ、相次ぐ銃乱射事件などで学校の安全やモラルが問われている北米においては、日本の教育から学ぶところが多いと指摘、教育面での交流の重要性を訴えた。

以上



一般財団法人 経済広報センター 国際広報部

〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-3-2 経団連会館 19 階

電話：03-6741-0031

<http://www.kkc.or.jp/> ※本稿の無断転載を禁じます。